



平成 28 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 石 井 進 也  
(コード番号：3682 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役経営管理部長 川 島 久 男  
( TEL. 03-5623-2622)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 10 月 21 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 10 日に開示した平成 29 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 970	百万円 230	百万円 230	百万円 150	円銭 43.33
今回修正予想 (B)	871	162	162	109	31.57
増 減 額 (B-A)	△99	△68	△68	△35	
増 減 率 ( % )	△10.2	△29.6	△29.6	△27.3	

#### 2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 2,080	百万円 550	百万円 555	百万円 370	円銭 106.87
今回修正予想 (B)	1,870	390	395	260	75.10
増 減 額 (B-A)	△210	△160	△160	△110	
増 減 率 ( % )	△10.1	△29.1	△28.8	△29.7	

(注) 当社は平成 29 年 3 月期 第 1 四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期実績の数値は記載しておりません。

### 3. 修正理由

#### (1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間 業績予想について

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想につきましては、ライセンス売上において当初計画を下回る見直しとなりました。当初見込みとの差異原因につきましては、

- ① 主要顧客先である金融機関においてマイナス金利による収益低下の影響から投資抑制や計画延期の動きがみられたこと
- ② 企業のセキュリティ投資が標的型サイバー攻撃対策にシフトし、一部代理店においては、標的型サイバー攻撃対策製品に特化した販売促進を行ったことなどから、システム証跡管理や特権 ID 管理製品への投資が先送りもしくは最小限の投資に留まる傾向がみられたこと
- ③ 契約件数は増加している反面、大型案件が減少したことなど 1 契約当たりの単価が減少したこと

等によるものです。

利益面につきましては、売上の計画未達と定期および中途採用による人員増と処遇改善、確定拠出年金制度の導入など福利厚生施策に伴う人件費増加、研究開発部門での派遣技術者受入費用の増加などにより売上原価および販売管理費が増加したことにより平成 28 年 5 月 8 日に公表しました第 2 四半期累計期間の業績予想値よりも売上、利益ともに計画を下回る見直しとなりました。

#### (2) 平成 29 年 3 月期 通期業績予想について

平成 29 年 3 月期の業績予想につきましては、自治体情報システム強靱化に対応する新製品投入や既存製品の機能強化版の提供などにより販売強化に取り組んでまいりますが、平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の見込みを受けて通期の見直しを実施した結果、第 3 四半期以降もライセンス売上は上記状況が継続すると見込まれる一方で、採用強化に伴う売上原価および販売管理費の増加が見込まれるため、平成 28 年 5 月 8 日に公表しました通期業績予想について修正することといたしました。

ライセンス売上につきましては、官公庁や企業が標的型サイバー攻撃対策として入口対策・出口対策製品の導入を優先しているため、一時的な影響を受けているとみられます。

当社は、公益財団法人 金融情報システムセンター (FISC) の「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」の改訂版における「サイバー攻撃対応体制の整備」（入口対策・内部対策・出口対策）において、内部対策である特権 ID 管理要件に対応した「ESS AdminControl (EAC) Ver1. 4」をリリースいたしました。本製品は、サーバーに対する不審なログインをレポート化するなど、サイバー攻撃など外部からのセキュリティ脅威への対処を図っております。個人情報や顧客情報など重要サーバーへの多層防御としてのアクセス管理やシステム操作の監視、操作証跡記録と点検は不可欠な要素であることからシステム証跡管理や特権 ID 管理製品市場の拡大は続くものとみております。

なお、平成 29 年 3 月期の期末配当金予想につきましては、1 株当たり 25 円 00 銭の従来予想から変更はありません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上